

令和6年度林業普及指導員研修(木材利用研修)の実施!

木材研修における、 セーザイゲームの活用

昨年、長野県松本合同庁舎にて、長野県林務部職員向けに、木材利用研修を目的とした「セーザイゲーム」を実施しました。

ニュースレター12月号でご紹介した、中学生が授業の一環で取り組んだセーザイゲームとは対照的に、今回は林業に関わる職員の皆さんに体験していただきました。

「セーザイゲーム」とは、木の競売、木取り、換金といったプロセスを通じて、製材業を擬似的に体験し競い合う、製材シミュレーションゲームです。



「川中、川下の仕事を覚えてほしい」 セーザイゲーム実施の経緯

今回、長野県林務部職員の皆さんの木材利用研修において「セーザイゲーム」を実施することになった経緯としては、製材を楽しく学ぶことのできる「セーザイゲーム」の存在と、弊社で運営が出来ることを知った主催者に声をかけていただいたことがきっかけでした。

主催者が、毎年数回、林業普及指導員の研修を行う中、普段、川上(山側の仕事)だけでなく、川中、川下の知識を職員に身に付けてもらいたい、という思いが背景にあり、ゲームの実施に至りました。

今回も白熱する ゲーム展開でした!

林業への知見が豊富な長野県林務部の皆さんということもあり、非常に白熱するゲーム展開を見せてくれました。特にゲーム上の「競り」において、木の状態を見てからの仕切りの判断がスピーディに行われ、職員の皆さんの目利きの良さや判断力の高さが光りました。ランクの結果発表時には、感嘆の声や笑い声等が飛び交いました。私たちの日々の企業活動を知ってもらえる貴重な機会ともなり、とても光栄に思います。



第三木材 新年総会を 実施しました!

1月上旬、毎年恒例である第三木材と木楽ホーム合同の「新年総会」を開催しました。

総会では、各部門からの挨拶や部門方針の発表が行われ、全体で今年の目標を確認し合う場となりました。

島田社長からは訓示があり、今年目指していく姿が語られました。

今年は千支で「乙巳(きのとみ)」、十二支では「巳(へび)」の年にあたります。巳年は、変化や成長、そして新たなステージへの挑戦を象徴するとされています。そんな巳年が持つ意味のように、弊社においても地域社会に根ざしながら、より良い製品の提供、そして木材の持つ温もりや魅力をさらに多くの方々に伝え、昨年を超える新しいステージへの挑戦を目指していきます。

そして「笑顔のあるところに幸せは宿る」という想いを大切に、社員一同、皆様の暮らしに寄り添いながら、地域社会の未来を支える企業としての責任を果たしてまいります。本年もどうぞよろしくお願いたします。



DAI3WOOD通信 2025.1月号

発行元 株式会社第三木材

TEL:0268-62-1202

〒389-0514 長野県東御市加沢201-5

MAIL:info@dai3wood.co.jp

